

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 49	重度利用者に対する支援時間増加による、軽度者への影響、あるいは重度者の割合が高くなり過ぎた場合の夜間等の対応の限界  日常的外出支援における個人差問題	1、比較的ADLの良い利用者の活動性を上げる為に、御家族さんやボランティアさんの協力や支援を得る。 2、御家族さんやボランティアさんに参加可能なプログラムを作成し、外出支援等の協力をお願いする。 3、夜間安眠できる為の支援を強化する。	1、日中活動、夜間の其々問題点について再検討 2、利用者のADL別、重度別活動プログラムの作成 3、御家族さんやボランティアさんの協力活動をお願いする上でのリスクの抽出並びに対策を図る 4、外出支援等に協力して頂くボランティアの募集 5、重度別活動実施の勉強会、研修会の開催	10ヶ月
2	46	一人一人に合った安眠の支援	不眠や昼夜逆転の原因を探り、生活面、心理面、医療面のそれぞれから改善を図る。	1、活発な日中活動により自然な安眠を支援する。 2、昼夜逆転や不眠の原因を探り、BPSDの本質からの解決を目指す。 3、睡眠剤、向精神薬の適量処方により、利用者がストレスなく安眠できる様に支援する。	5ヶ月
3	4	運営推進会議が、決められた通りに開催できていない。	出来るだけ規定通りに開催する。	前回より、運営推進会議開催日の最後のプログラムに、次回開催日を決める事にした。	2ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。